キャラクター名: シルヴェラ・テイネブリス

プレイヤー名:

種族	ルーンフォーク	種族特徴	暗視、HP変換		
生まれ	魔動機師	性別	女性	年齢	再起動後3年目
冒険者Lv	2	経歴	家族に魔法使いがいる（いた）		
経験点	0		故郷の場所を知らない		
			臨死体験をしたことがある		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	12	器用度	9			21	3
		敏捷度	5			17	2
体	8	筋力	10			18	3
		生命力	7			15	2
心	6	知力	8			14	2
		精神力	3			9	1

技能	Lv.	技能	Lv.
シューター	1		
マギテック	2		
セージ	1		

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	1	4	3	4

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	ソフトレザー		7		3
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	シューター	合計値		3	3

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
サーペンタインガン 射程10m,装填数3	1H	1		2d+ 4	11	4											
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

- 冒険者セット ○□□○□□
- 弾丸（12発） ○□□○□□
- ベルトポーチ ○□□○□□
- 小型ナイフ ○□□○□□
- ヴァイウィングの似顔絵（人間体） ○□□○□□
- ヒーリングポーション ○□□○□□

- 冒険者証 ○□□○□□
- ○□□○□□
- ○□□○□□
- ○□□○□□
- ○□□○□□

所持金 73 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	17 m	51 m

回避	防護点
2d+ 3	3

HP
21

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 3	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 4	2d+ 3

MP
15

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	2	4			

戦闘特技

ターゲッティング	1-280p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	
魔動機文明語	○	○

装備品		説明
頭	帽子（革）	
耳		
顔	マスク	
首	マフラー	
背中	ロングマント	
右手	手袋（革）	
腰	ガンベルト	12発入り
足	ロングブーツ	
その他	マギスフィア（小）	首元に埋め込まれている

装備品		説明
左手	手袋（革）	

練技/呪歌/騎芸/賦術

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 0 /合計 0

その他メモ

冒険に出た理由：探している人がいる　硬質素材部分：両腕

元々は要人の護衛を主な目的として稼働していたルーンフォークの一体。物静かで感情をあまり表に出さない。
生まれ故郷は必要のない情報として扱われた為消去されてしまい、一切の記憶がない。
過去に一度蛮族との戦闘で多大な損傷を負って機能を停止し、廃棄場に破棄されていたところをヴァイウィング・テイネブリスという異形の魔法使いに「興味が湧いた」という理由で修復と共に持ち出され、そのまま彼の下で余生を過ごすこととなる。
初めは常に最大の警戒心を持っていた彼女だったが、自分をただの機械ではなく個人として接し続けてくる彼に対して、今までなら持つはずのなかった初めての感情、その中でも好意というものを認識し始めていく。それは時を重ねていくごとに強くなっていき、自分とは無縁なものだと思っていた家族という存在としてヴァイウィングを見初め、また彼も喜んで受け入れてくれた。
それからは私生活が少しだらしない彼の身の回りを整えたり、料理を振る舞ったりなどと、戦いから切り離された幸せな生活を送っていた彼女だったが、ある日の明け方、一つの手紙を残してヴァイウィングが姿を消してしまう。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟